



2021年度 Aコースについて



～ 中学入試のおもしろい！をみつけよう ～

<ねらい>

入試に出題される重要実験を実際に体験し、**入試理科を楽しく・得意分野**にすることにあります。「**楽しいから学びたくなる**」この姿勢は受験を志す子どもたちにとっても大切なことです。中学入学後にも継続する、本物を学ぶ姿勢の体得を本コースでは目指しています。感動を伴う体験は、学校や塾などの学習に先駆けて経験しておく方が、お子様に効果的に定着する傾向があります。このため、小学校4年生・5年生の方には月2回の受講をお勧めいたします。6年生の内容も**4年生でも楽しく理解できるように実施**してまいります。

<2021年度 神奈川／東京 中学入試出題傾向 約200校対象> [分析 アイシュタインラボ]

2020年度の入試では昨年に続き、実験・観察を扱う出題が7割を超え、化学分野・物理分野では、**9割以上が実験に関する出題**となりました。また、データを見ながら長文を読み込んで回答させる出題が増えています。内容をみると、天体・動植物・解剖・水溶液・状態変化・実験器具・気体の発生・気体の性質・運動分野は、まんべんなく基本問題として出題されたといえます。注意したいところは、各中学校がそれぞれの特色を出す応用問題です。ここでは、教科書のみでの学習ではとらえきれない出題が目立ちます。興味深い出題例としては、**プラスチックにかわる新素材を考える問題・温暖化に関する問題・オリンピックの競技種目を例にとった速さや器具の仕組みに関する問題・小惑星探査機に関する問題**などがあげられます。これらは、現在日本が直面している問題にいかに関心をもって取り組んできたかが問われます。また**脱炭素化**の電気・エネルギー関連の出題も増えています。これらの問に対応するためには自分から面白いと興味をもち、現象と現象を関係付けて調べていくなど、分野の壁や教科書にとらわれない積極的な姿勢が大切になってきます。

2021年度のアインシュタインラボの授業では、小学校で行う基本的な実験はもちろん、上記のような**最新の時事問題にも対応できる**よう、各分野の実験を取りそろえております。お子様の科学的な考え方が自然に育まれ、受験およびその後の将来にきっとお役にたてると自負しております。



卒業生の感想

とにかく楽しかった。先生方の教え方が面白くて分かりやすいので、2時間30分はあっという間だった。中学に入っても役に立っている。

(青山学院中等部合格)

ラボに来て、理科が大好きになりました。理科が得意教科となり国算を引っ張り上げ合格できました。(浅野合格)

実験がとても面白かったので、小学校1年からラボに入りました。自然に興味のあることがふえ、理科はストレスなく取り組めたとおもいます。楽しいのがとてもいいです。

(横浜サイエンスフロンティア附属中合格)

おもしろい実験がおおかったので、授業が終わってからもやっていました。教え方も分かりやすかったのでよかったです。

(開成中合格)

<Aコースのようす>



その他、たくさんの皆さんから感想をいただきました。ありがとうございました。